

# アグリポ地域(エル・ポソ地区)農業開発事業

ドミニカ共和国



▲灌漑地区の水路。コンクリートでライニングされており、状態は良く、水路のみならず補修用道路（写真左部分）についても持・管理されています。

## ■事業概要

借款契約締結日	借款金額
1983年 5月	88億2,500万円

ドミニカ共和国はカリブ海に浮かぶ島国でハイチと隣接しています。ハイチがフランス文化圏に属するのに対し、ドミニカ共和国はコロンブスの発見以来、基本的にスペイン文化圏であり、その影響で米を主食としています。近年、米の消費量が増加していること、また従来、農業は砂糖、タバコなどの伝統的一次産品に特化していたことから農業の多角化政策が進められています。

同国第2の河川ジュナ川の下流域には、約2万haの農用地開発可能地が展開しています。この地域はアグアカテ、リモン・デル・ジュナ、及びエル・ポソの3地域から構成されていることから

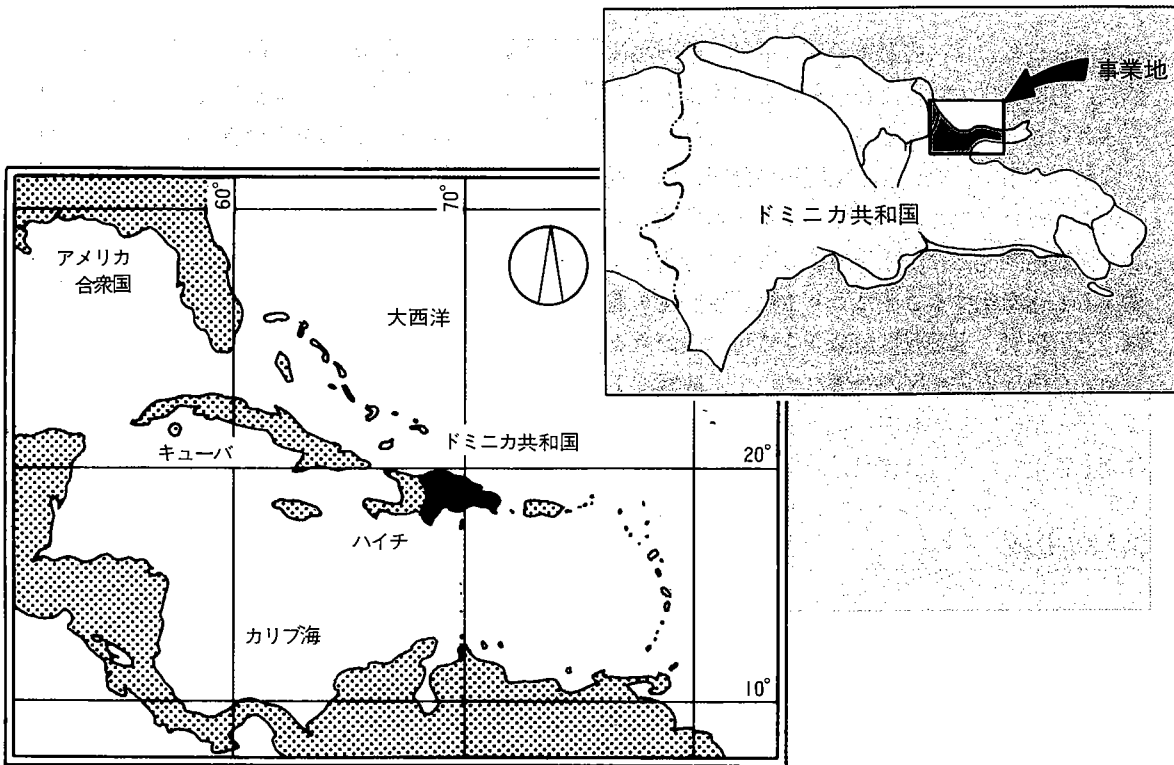
アグリポ地域と総称されています。

本事業では、このエル・ポソ地区において、米の二期作を実現し、同国の主食である米の自給確保に貢献することを目的として、灌漑面積7,500haを対象とする灌漑・排水施設等整備を行いました。具体的には、4か所にポンプ場を設置し、幹線用水路及び支線用水路をそれぞれ約30km、約180km整備する等の事業を実施しました。

OECDは、灌漑・排水施設工事費、資機材調達費およびコンサルティング・サービス費用に対して借款を供与しました。

## ■事業実施に係わる評価

本事業の実施機関は、全国レベルで水資源の開発および利用につき管理・統制を行っている水利庁であり、本事業では水利庁内に特別にプロジェ



クト・オフィスが組織され、その実施に当たりました。事業は計画通りに実施され、当初44ヵ月と予定されていた工期については、詳細設計時の見直しの結果48ヵ月に変更され1989年8月に完工しました。

### ■完成後の運用に係わる評価

同国における他の灌漑地域と同様に、本事業実施地域においても水管理に係わる諸施設（ポンプ・ゲート等）の運用は水利庁が、農業普及関係は農業省が行っています。運用体制、維持管理状況とも、現状、問題は見受けられませんが、ポンプの定期点検、水路の清掃については今後とも十分に留意していくことが必要です。

作付体系は当初計画通り水稻の二期作が行われつつあります。年間のべ収穫面積は、施設完成後に7年目に15,000ha（7,500ha×二期作）に達

するよう計画されていますが、実績は既に1989年で11,000haとなっており、1992年（完成後3年目）には当初計画の15,000haに達する予定になっています。

現状では、地区内において水の供給不足は発生していませんが、本地区のように地区内での排水を再利用する水管理は難しく、最終的に全ての二期作（年間のべ収穫面積15,000ha）を実現させるためには、農民が組織する水利組合と水利庁との連携を一層密にし、地区内を総合的に見た営農計画および給・排水計画を確立する等、水管理体制を強化する必要があります。

事業実施後の単位面積当たり収穫量は当初計画の4.27トン/haを大きく上回り地区平均6.4トン/haの実績を上げています。完成後3年目には本地区の年間のべ収穫面積が15,000haとなり、年間生産量は同時点での当初計画想定量の64,000トンを大幅に上回ることが予想されて

## アグリポ地域(エル・ポソ地区)農業開発事業

います。これには、農業省の普及活動、稲の品種改良、及び農民の稲作技術の高さ等によることも大きいものと思われます。

なお、本事業実施による環境への悪影響は、現在のところ見受けられません。但し、本事業のような泥炭地開発では、開発後ある程度の時間が経過すると乾燥化することにより土壌の酸性化が進み、その結果、水稻収量が減少する可能性があるため、今後は事業地区内全体について、地盤沈下量、地下水位、土壌PH、水稻収量の計測・観察体制を強化していく必要があります。

### ■事業効果

本地区の米の生産量は1989年で64,000トンであり同年のドミニカ総生産量の約10%強を占め

#### ▼幹線排水路

本事業地は、もともと大半が湿原地であり、排水が非常に重要です。写真は借款にて供与された機械を使い排水路を清掃しているところです。

ています。同国の米の需要は年々増加しており、生産高の伸び悩みにより輸入量が増加していることから、今後、本事業の対象地域全体で予定通り二期作が実施されれば、同国の米の自給率の向上に大きく貢献していくものと思われます。

また、本事業地区の二期作を行っている農家2,350世帯の平均所得は各農家の所有する水田面積と単位面積当たり収穫量の増加によって、事業実施前と比較して約3倍の5,700ドル/年となっています。

間接的な効果としては、開発に伴い病院、銀行、商店等が増え、地域の活性化が図られていると実施機関より報告されています。

(評価時期：1990年12月)

